



# **FDR-820 m2**

6SS2438 ver 1.2

## 専用ソフトをインストールする

本機で記録した映像は、パソコンに専用ソフトをインストールすることにより、 映像ファイルを再生することができます。

	再生のみ	画像処理機能 <sup>*1</sup> を使用	
OS	Microsoft Win	dows 11、10	
CPU	Intel Core i3、2.7GHz 以上	Intel Core i5、3.0GHz 以上	
RAM	4GB 以上	8GB 以上	(2024年6月現在)

※1:専用ソフトで画像の回転機能など画像処理機能を動作させること。

※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。

※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※再生するファイルの種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン 環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承くだ さい。

※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。

※専用ソフトの画面サイズは1024 × 768 ピクセル固定です。

※コントロールパネル内のディスプレイの設定が[100%]になっていないと起動することができません。 ※本機の記録解像度は、最大200万画素ですが、専用ソフトで表示する場合は、画像処理で減少します。

#### ⚠ 注意

企業様によっては「ソフトにインストールや起動」「SDカードの接続」「標準フォーマット以外のデータへのアク セス」について制限を設けている場合があります。以下の2点についてIT管理者様にご確認をお願いします。

①YPフォーマットについて

データのセキュリティ及びメンテナンスの最小化、映像データを確実に記録するために、本製品では独自形式の[YP フォーマット]で記録しています。データはSDカードに直接アクセスして記録するため、FATなど標準フォーマッ トを採用していません。

#### ②SDカードの構成について

SDカードの構成として、2つのパーティションに区切っており、1つ目は450MBほどのFAT領域、2つ目は[YPフォーマット]の領域で[ディスクの管理]上で、RAWまたは未割当と表示されている部分となり映像データはこの部分に記録されています。

## 1.専用ソフトをインストールする

下記の弊社ホームページより専用ソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。

※インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。

※誤って専用ソフトを削除した場合、またはOS やシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ソフトをダウンロードしてください。

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu\_drr.html

#### ■ SDカードのファイルを専用ソフトで読み込めない場合

「実行ユーザーの権限等を確認してください」とメッセージが出た場合は、専用ソフトのプログラムファイル [PC Browser.exe]を右クリックしてプロパティを出し 「管理者としてこのプログラムを実行する」に✓を入れて専用ソフトを立ち上げてください。

① [PC Browser] のショートカットアイコンを 右クリックして、メニューのプロパティをク リックする

	apteru
PC B	9) ジャンシ(1) コピー(C)
P	
	ショートカットの作成(S)
	削除(D)
	名前の変更(M)
	לם/(הֹא(R)

#### 作業フォルダで「PC Browser.exe」の場所を 確認する

📓 PC Browserのプロ	コパティ	×
全般 ショートカッ	ト 互換性 セキュリティ 詳細 以前のパージョン	
Yupitmu PC	Browser	_
種類:	アプリケーション	
場所:		
リンク先(工):	PC Browser	
作業フォルダー( <u>S</u> ):	CHProgram Files (x86) YPC Browser(*)	
ショートカット キー(K):	なし	ור

③「PC Browser.exe」を右クリックして、プロ パティの「互換性」タブをクリックし、設定の 「管理者としてこのプログラムを実行する」に √を入れて、[OK]をクリックする

Sec Browserのプロパティ	×
全般 ショートカット 互換性 セキュリティ 詳細 以前のパージョン	
このプログラムがこのバージョンの Windows で正しく動作しない場合は、互換性 のトラブルシューティング ツールを実行してください。	
互換性のトラブルシューティング ツールの実行	
互換性の設定を手動で選択する方法	
互換モード	
□ 互換モードでこのプログラムを実行する:	
Windows 8 $\vee$	
10字	
□ カラー モードを制限する	
8 ピット (256) カラー	
□ 640 x 480 の解像度で実行する	
□ 全画面表示の最適化を無効にする	
図管理者としてこのプログラムを実行する	
高 DPI 設定の変更	
●すべてのユーザーの設定を変更	
OK キャンセル 適用( <u>A</u> )	

## <u> 注</u> 意

- ・SDカードの装着/取り出しは、車両停止(ACC OFF)し電源ランプの消灯を確認してから行ってください。
- ※車両停止(ACC OFF)してもしばらくはSDカードにデータの書き込みが行われています。SDカードの抜き差しは、電源ランプの消灯を確認してから行ってください。
- ※[録画延長時間]が設定されている場合は、設定時間経過後に行ってください。
- ※[録画延長時間]と[録画待機時間設定]が設定されている時に車両停止(ACC OFF)した場合、[SD カードエラーです]とアナウンスが流れる場合がありますが故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ・SDカードは一方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。 無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・別売品の専用SDカード以外は使用しないでください。本機が正常に動作しなくなる場合 があります。

## SDカードを取り外す

1.車両を停止 (ACC OFF) する

電源ランプの消灯を確認してください。

## 2.SDカードカバーネジを完全に緩め、SDカードカバー (カバーロック)を開く



SDカードカバーネジ (付属トルクスネジまたは付属手回し可能ネジ) ※ SDカードカバーネジはカバーロックから外さないでください。 SDカードカバー (カバーロック)

矢印の方向に引いて開きます。

## 3.SDカードを押し込み、カードが飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

#### ●SDプロテクトスイッチについて

SDカードには、プロテクト(書き込み禁止)機能が付いています。 使用時には、必ずプロテクトスイッチをOFF にしてください。



## SDカードを装着する

1.車両を停止 (ACC OFF) する

電源ランプの消灯を確認してください。

## 2.SDカードカバーネジを完全に緩め、SDカードカバー (カバーロック)を開く



SDカードカバーネジ (付属トルクスネジまたは付属手回し可能ネジ) ※ SDカードカバーネジはカバーロックから外さないでください。 SDカードカバー (カバーロック)

矢印の方向に引いて開きます。

## 3.SDカードを挿入する





SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

## 4.SDカードカバー (カバーロック)を閉め、SDカードカバーネジを締める

※SDカードカバーの中心部を強く押すと、SDカードが飛び出す場合があります。注意してカバーを 締めてください。



SDカードカバーネジ (付属トルクスネジまたは付属手回し可能ネジ) ※ SDカードカバーネジはカバーロックから外さないでください。

SDカードカバー (カバーロック)



## 再生する

Yupiteru

## 1.カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードを接続する





※ご使用のSDカード容量に対応していないカードリーダーを使用した場合、SDカード内のデータが 破損することがあります。

## 2.デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする



## 3. 🗂 (フォルダ)をクリックする



## 4.[DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



※メニューバーの[ファイル]⇒[データフォルダを指定]⇒[DRIVEREC1]を選択しても同じ画面表示 になります。

## 5.再生したい録画方法をクリックする

PC Browser[FDR-820 m2]									2	- ×
ファイル(E) 表示(y) 再生(E) ウール(D インフォメーション(D)	G	5	Û	A		ΓW	1			
						RACI	- Ri		A THREE PLAN	
					6	-MAIN		Tabid.	11.042	フは
							1	2024/05/14151817	衝撃、など	000
						H	2	2024/05/14 15:18:27	10134	000
						H	4	2024/05/15 09:5913	修設	000
						ă	5	2024/05/15 13:44:00	推開	000
						Ū.	6	2024/05/15 13:45:47	衝撃	000
						ō i	7	2024/05/1513:4618	衝撃	000
							8	2024/05/1514:4017	衝撃	000
							0	0004/05/154540-44	16182	-000

## 6.再生したい録画データ名に、を入れ、[読み込み]をクリックする

選択した録画データが読み込まれ表示されます。 ※複数のデータを選択できます。 ※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに√が表示されます。

## ▶ ボタン(再生)をクリックする

録画データを再生します。

#### ■ 再生時の操作について

映像の再生や早送りなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。 つまみをスライドさせ 🏊 ボタンをクリックすると、その場所から再生できます。



イベントがあった場所を黄色の縦線で表示します。

ボタン		説 明
▼戻し         早戻しします。クリックするごとに再生速度が変化します。           (2 倍速⇒ 4 倍速⇒ 8 倍速⇒ 16 倍速⇒ 2 倍速)		
前コマ前のコマの映像を表示します。		前のコマの映像を表示します。
逆再生します。クリックするごとに再生速度が変化します。 (1倍速[通常速度] ⇒ 0.5倍速[スロー] ⇒ 1 倍速[通常速度])		逆再生します。クリックするごとに再生速度が変化します。 (1 倍速 [ 通常速度] ⇒ 0.5 倍速 [ スロー ] ⇒ 1 倍速 [ 通常速度])
停止 停止します。		停止します。
	再生	再生します。クリックするごとに再生速度が変化します。 (1 倍速 [ 通常速度] ⇒ 0.5 倍速 [ スロー ] ⇒ 1 倍速 [ 通常速度])
H	次コマ	次のコマの映像を表示します。
<b>*</b>	早送り	早送りします。クリックするごとに再生速度が変化します。 (2 倍速⇒ 4 倍速⇒ 8 倍速⇒ 16 倍速⇒ 2 倍速)

₩

朣

## 再生画面について

Yupiteru

₩

朣



		0						
No.	表示名		説 明					
		Ē	フォルダを指定します。					
		D]	表示方法を変更します。					
		Ô	静止画に変換します。					
		þ	印刷します。					
$\bigcirc$	メニューバー	٩	動画に変換します。					
			データのバックアップをします。					
		۲	ログデータに変換します。					
		~	レポートを表示します。					
		<b>O</b> °	記録設定画面を表示します。					
2	表示エリア	選択したデータの映像を表示します。						
3	③ 音量/表示切替ボタン		音量の調節、複数カメラ /1 画面 /16 分割表示の切替、 サブカメラ操作 ( サブカメラ接続設定時 ) をします。					
(4)	走行速度表示*1	GPS 7	で記録した走行速度を表示します。					
(5)	ウィンカー / ブレーキ 情報 / 汎用入力表示*2	増設信号の入力状態を表示します。						
6	加速度表示	記録さ 向:黄	をれている衝撃 ( 加速度 ) の値を、前後 (X 方向:赤色 )、左右 (Y 方 録色 )、上下 (Z 方向:青色 )、回転 (ω方向:黄色) で表示します。					
$\overline{\mathcal{O}}$	緯度·経度表示 <sup>*1</sup>	GPS で記録した緯度 (N)・経度 (E) を表示します。						
8	再生ボタン	再生や、早送りなどの操作を行います。						
9	<ul> <li>         ・加速度センサーグラフ 表示         ・加速度センサーグラフ         ・加速度センサー         ・         ・         ・</li></ul>		まセンサーグラフを表示します。					

※1:別売品の防水GPSユニット(OP-GPS1)が必要になります。また、接続しても使用環境によっては GPSが受信(測位)できず、GPS情報を記録できない場合があります。あらかじめご了承ください。

※2:別売品のインターフェースIFケーブル(OP-CB007)が必要になります。

No.	表示名	説明
(10)	NIGHT(ナイト) モードボタン	映像を明るく表示します。 <b>N</b> :ON、 <b>N</b> :OFF
1	日付・時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。
(12)	地図表示*1	読み込まれた映像はGoogleマップに連動して自車位置が移動します。 ※ インターネットに接続されていないと、地図(Googleマップ)は表示されません。
(13)	プレイリスト一覧	選択されているデータを表示します。

#### 画面表示の変更

▶ ボタンをクリックすると周囲カメラ表示方法選択画面が表示され、表示方法を選択することができます。 

#### ・周囲カメラ表示変更画面

周囲カメラ表示方法を選択してください	×	
会議表示 目前にた当者をそのまま(外裂状態)表示します		
<b>拡大フ</b> ラット表示 一部分を拡大して平磁状に表示します	Î	
パノラマ表示 木平 360 度力向を検養の一名の画像で表示します		
リングな表示 ・パンラマ画像をリング状態の画像で表示します		
ドーム型表示 ドーム状の曲線で表示します		
180' VR 魚間表示を平城状の画像で表示します パンラマ表示		

※ 周囲カメラの表示変更は、周囲カメラユニット (OP-CM365WP、 OP-CM364WPH) で撮影されたデータにのみ対応しており、広角カメ ラユニット(OP-CM208WP、OP-CM209WPIR、OP-CM205WPH)で 撮影されたデータについては意図した通りの周囲カメラ表示はでき ません。

※メニューバーから変更する場合は、[表示]→[周囲カメラ]から 選択してください。

①カメラ1表示(メインカメラ) ②カメラ2表示(サブカメラ) ③魚眼表示 ④拡大フラット表示 ⑤パノラマ表示 ⑥リング表示 ⑦ドーム表示 ⑧180° VRパノラマ表示 ③複数カメラ別画面表示/1画面表示

 ・魚眼表示(
 ( 録画した画像そのまま (魚眼状態)

で表示します。

・リング型表示( 🛄 )

表示します。

パノラマ画像をリング状態で

します。

・拡大フラット表示( 一部を拡大して平面状に表示



・ドーム型表示( ドーム状の画像で表示します。





・パノラマ表示(



・180° VRパノラマ表示( 魚眼表示を半球状の画像で表示 します。



#### ■1画面表示/複数カメラ別画面表示

表示切替ボタン(**まままま**)の **「**) をクリックするたびに、1画面表示と複数カメラ別画面表示を切り 替えます。

[表示]→[画面表示]から[1画面表示][複数カメラ別画面表示]をクリックしても同様の動作となります。





※1:サブカメラで録画を 行っていない場合、[複 数カメラ別画面表示] は選択できません。

#### ■ 16分割表示/複数カメラ表示

メニューバーの [表示] → [画面表示] から [16分割表示] [複数カメラ表示] をクリックして画面表示を切り替 えます。

複数カメラ表示にした場合、表示切替ボタン(※2)が変わります。 
「
「
オタンをクリックすると、
「1 画面表示」
と
「複数カメラ表示」を切り替え、
「
#
「
オタンをクリックするとサブカメラの再生場所を移動できます。



<16分割表示>

<複数カメラ表示>

#### ■ ウィンカー / ブレーキ情報 / 汎用入力情報示

ウィンカー / ブレーキ操作したことが表示部の点滅 / 点灯で確認で きます。また、汎用入力情報の信号が入力されると入力された番 号が点灯します。



※別売品のインターフェース IF ケーブル (**OP-CB007**) が必要に なります。

#### ■ 画面表示エリアメニュー

マウスの右クリックで[画面表示エリアのメニュー]を表示します。

画像状態:正転 0°	
標準に戻す	
画面操作	>
反転	>
拡大·縮小	>
回転(角度指定)	>
周囲カメラ表示調整	>
NIGHTモード	
別ウィンドウで表示	

・**画面表示** 画像の回転角度を表示します。

・標準に戻す 拡大した画像や回転・反転した画像を初期表示に戻し ます。

#### ・画面操作

画像の範囲拡大、移動、回転の操作ができます。

<範囲拡大>

範囲拡大に✓を入れ、範囲を指定することで、拡大表示します。マウスの左ボタンで拡大したい部分をドラッグし ます。

点線部分が範囲選択部分です。



#### <移動>

移動に√を入れ、拡大表示した画像の表示位置を移動します。マウスの左ボタンをドラッグし、表示させたい部分 まで移動します。

※拡大表示していない場合、[画面移動]はできません。

#### <回転>

回転に✓を入れ、画像を回転します。マウスの左ボタンをドラッグし、回転します。

※表示を元に戻す場合は、右クリックで「画像表示エリアメニュー」を表示させ、[標準に戻す]を選択します。

#### ・反転

[左右反転]をクリックすると、画像を左右に反転します。 [上下反転]をクリックすると、画像を上下に反転します。

#### ・拡大・縮小

[拡大]をクリックすると、表示画像の中央を基準に画像を200%拡大します。 [縮小]をクリックすると、表示画面の中央を基準に画像を50%縮小します。 ※画像の拡大・縮小は、マウスホイールでも行えます。

#### ・回転(角度指定)

[時計回り]をクリックし、角度を入力すると画像が時計回りに回転します。 [反時計回り]をクリックし、角度を入力すると画像が反時計回りに回転します。

#### ・周囲カメラ表示調整

[標準に戻す]をクリックすると周囲カメラで表示する範囲の中心・ 大きさを初期値に戻します。

[移動]をクリックし、マウス左ボタンをドラッグして周囲カメラで 表示する範囲の円の中心(+)を変更します。

※円の範囲は変わりません。

[大きさ]をクリックし、マウスの左ボタンをドラッグして周囲カメ ラで表示する円の範囲を変更します。

※円の中心は変わりません。

・NIGHT(ナイト)モード 映像を明るく表示します。

・別ウィンドウで表示 画像をそれぞれ別ウィンドウで表示します。 ー 6 ー



#### ■ 映像抽出(※常時録画データのみ)

指定した常時録画データに対して、記録された日時に従い2分刻みのデータに分割して抽出します。 抽出したデータは、「動きポイント」<sup>\*1</sup>が高い順に整列されます。

※1:加速度センサー/ジャイロセンサーの変化が大きい時間帯の映像。

#### ①[常時録画]をクリックする

イベン		常時録画		
選択	No.	Barro	期間	機器II
	1	2024/08/04 09:01:41	34分	YLB10
	2	2024/08/17 15:24:48	22分	YLB10
	3	2024/08/18 14:46:18	50分	YLB10
	4	2024/08/22 13:11:46	8分	YLB10
	5	2024/03/22 14:52:01	30分	YLBIC

#### ②抽出したい録画データ名に√を入れ、[映像抽出]をクリックする

イベン	一記影	常時録画	调歴記球	
彈択	No.	時刻	期間	機器II
	1	2024/06/04 09:01:41	34分	YLB10
	2	2024/08/17 15:24:48	22分	YLBIC
<b>Y</b>	З	2024/08/1814:46:18	50分	YLB10
	4	2024/08/22 13:11:46	8分	YLB10
•	5	2024/08/22 14:52:01	30分	YLB10
		映像抽出		
<			J	>
すべて	を選択	映像抽出	読み	込み

加速度抽出パラメータ調整

OK

個数

#### ③リストに表示したい個数を指定して[OK]をクリックする

キャン

]					
×	イベン	ト記録	常時録画	履歴記録	
	選択	No.	時刻	動きポイ	機器IC
- 30		1	2024/03/22 15:05:52	2 194	YLB10
r		2	2024/03/22 15:17:53	3 190	YLB10
7711/		3	2024/08/22 15:11:52	2 185	YLBIC
		4	2024/03/22 15:13:52	2 171	YLB10
		5	2024/03/22 15:07:53	3 164	YLB10
		6	2024/03/22 15:09:52	2 156	YLB10
		7	2024/03/22 14:53:53	3 143	YLB10
		8	2024/08/22 15:19:53	3 140	YLB10
		9	2024/03/22 14:57:52	2 131	YLBIC
		10	2024/03/22 14:52:01	111	YLB10
		11	2024/03/22 15:15:53	3 78	YLB10
		12	2024/03/22 15:01:52	2 50	YLB10
		13	2024/03/22 14:55:52	2 26	YLB10
		14	2024/08/22 15:08:52	2 4	YLB10
		15	2024/03/22 14:59:53	3 0	YLBIC
	<				>

すべてを選択

ファイル出力 読み込み

※2:[常時録画]をクリックで元の常時録画 データー覧に戻ります。

再生したい場合は録画データ名に✓を入れ、[読み込み]をクリックしてください。 抽出した録画データを出力する場合は、録画データ名に✓を入れ[ファイル出力]をクリックし、保存 する場所を指定して[スタート]をクリックしてください。「機器ID\_日時.zip」の名前で作成されます。

#### ■出力ファイルについて

XXXXXXXXXX \_ yyyymmddhhmmss . zip (機器 ID) (年月日時分秒)

——— XXXXXXXXX \_ yyyymmddhhmmss . csv

—— XXXXXXXXXX \_ yyyymmddhhmmss . ydx

——— XXXXXXXXXX \_ yyyymmddhhmmss \_ main . avi

—— XXXXXXXXX \_ yyyymmddhhmmss \_ sub . avi

CSV	機器ID、動画の運行開始日時・データ開始日時などを記録したCSV形式ファイル
ydx	加速度値・ジャイロ値などを含むバイナリーデータファイル
main.ydx	メインカメラ映像のAVI形式動画ファイル
sub.ydx	サブカメラ映像のAVI形式動画ファイル(記録設定にてサブカメラが「有効」となっていたデータのみ生成されます)

Yupiteru

## 記録設定画面について

#### 本機の設定を変更することができます。

## 1.カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードを接続する





## 2. デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする



## 3.[ツール]⇒[記録設定]をクリックする



## 4.[DRIVEREC1]を選択し[OK]をクリックする



記録設定画面を表示します。

- 21	通設定						送信設定	Inc	- IN 1	8段定追加		
1	肆画方法	常時+イバント	٠	サブカメラ有効/無効	無効		1818ユニット	80	•] Gセン	北部	有効	
T	メインカメラ						自動設備データ種類				軟態	34.6
	解像度	720P	•	和律信		÷	常時靜脈過信方式					12/252
	録画コマ教	10コマ/秒	•	群面口で飲		-	有効力メラ					
)	イバント記録コマ教	1037/80		一代のト記録コマ教			-メインカメラー		急発症			10000
	使用カメラ	周囲カメラ	•	使用たよう		-	新修度 計画に改	2	158	-+		
100	「ペント記録時期	10,10 [2019]	•	上書きモードー				1		and a		0000
24	音声記錄	ON	•	常時鋒逝	ON	•	トサブカメラー		200	C.W.	and	$(\mathbf{x},\mathbf{x},\mathbf{x})$
3	Meessagg	4808時間	•	イベント記録	ON	•	释读度					
1	問題記録コマ教	137/8	•	限型記録	ON	•	超速工業数	2	541	コセンサ記録	有効	
1	常時·履歷分割	259	•			10000				Anna ann an	10000	
							and the later	-	2.580	8		
									₩ 1	置角度検出を	実行	
525	アム 音量	s .	1	SDD-FID	-		ACC-OFF很送信可能	紅上眼時間	AUUAN	77 秋年		
	计通道条时时 瓦	۰U.		(「半角文字のみ)	<u>.</u>				- AC07	イッチ記録	無効	٠
) (	oso表示 🔽	N .		(1000~9999)						tRan JE		
2	ルー画像出力設定	er .	1	e 10.0015	e 4-19-25		日時設定		電圧	<b>在视</b>	煮効	٠
- 10		er 2	13	6.515055	S. 2010-201		□ 設定する		秋出1	自任設定		
Ĩ	FDR-820 m2	■ 機種変更を多	817	50カードの設定 「日	DR-820 m2	ता	2024年 6月20E	11-46:40	- ##100107	使时INIR定 静画待	极時間設定	1
										##(B)117	WALLAR	1

設定変更後は、必ず[SDカードへ保存]をクリックして設定をSDカードに保存してください。

#### ① 録 画 設 定

★:初期値

表示名	説 明
録画方法	録画する方法を選択します。[常時録画][イベント記録][★常時+イベント] ※メインカメラおよびサブカメラの解像度が[1080P]かつメインカメラおよびサブカメラの 録画コマ数が[30コマ/秒]の時、[常時録画+イベント]は選択できません。
解像度	記録する映像の解像度を選択します。[1080P(1920×1080)][1536×1080][★720P][VGA]
録画コマ数	記録する映像のコマ数を選択します。 [30 コマ/秒][15 コマ/秒][★10 コマ/秒][5 コマ/秒][1 コマ/秒][2 コマ/分] [1 コマ/分][12 コマ/時][6 コマ/時]
ー イベント記録 コマ数	メインカメラの録画コマ数が反映されます。 ※メインカメラの録画コマ数が[2コマ/分][1コマ/分][12コマ/時][6コマ/時]に設定した場合、 イベント記録コマ数は[1コマ/秒]になります。
使用カメラ	使用しているカメラを選択します。 [広角カメラ(OP-CM208WP)][★周囲カメラ(OP-CM365WP)][IRカメラ(OP-CM209WPIR)] [ヒーター付き広角カメラ(OP-CM205WPH)][ヒーター付き周囲カメラ(OP-CM364WPH)]
イベント 記録時間	イベント記録時間(前,後)を選択します。 20秒:(★10,10)、(12,8)、(15,5) 30秒:(18,12)、(20,10)、(25,5) 40秒:(20,20)、(25,15)、 (30,10) 50秒:(30,20)、(25,25)、(40,10) 60秒:(30,30)、(40,20)、(50,10) ※サブカメラ有効/無効を[有効]にした場合、メインカメラの解像度・録画コマ数によって設定で きるイベント記録時間は異なります。
音声記録	音声も記録する場合に[ON]にします。[★ON][OFF]
履歴記録時間	ログ(加速度/時間)を記録する時間を選択します。[(OFF)][24時間][168時間][★480時間]
履歴記録コマ数	1秒間に記録する履歴記録のコマ数を選択します。[★1コマ/秒][2コマ/秒]
常時・履歴 分割	録画1データを分割して記録する場合に[2分]を選択します。[なし][★2分]
サブカメラ 有効/無効	カメラを増設した場合に[有効]にします。[有効][★無効]
上書きモード	[ON] にするとSDカードの容量がいっぱいになると古いデータから順に上書きされます。 ★すべて [ON]

#### 送信設定 ※別売品の通信ユニット(OP-WLAN1/OP-WLAN2/OP-LTE1)が必要になります。

表示名	説明
通信ユニット	使用する通信ユニットを選択します。[★なし][OP-WLAN1][OP-WLAN2][OP-LTE1]
送信データ	動作ストリームを選択します。[1st][2nd] 1st:SDカード記録とデータ送信は同じ設定のストリームを使用します。 2nd:SDカード記録とデータ送信は別々のストリームを作成します。
自動送信 データ種類	送信する方法を選択します。[なし][常時録画][イベント記録][常時+イベント][履歴記録] [常時+履歴][イベント+履歴][常時+イベント+履歴]
常時録画 送信方式	<ul> <li>通信時の動作を選択します。[応答あり][応答なし]</li> <li>応答あり:送信データをSDカードに保存し、古い順に読みだして送信します。また送信できなかったデータも送信可能になった時点で送信できなかった古いデータから順次送信します。</li> <li>応答なし:送信データをSDカードに保存せずに順次送信します。また、送信できなかったデータは破棄されます。</li> <li>※[イベント記録][履歴記録]の送信方式は[応答あり]で固定されます。</li> </ul>
有効カメラ	有効なカメラを選択します。[メインカメラ][サブカメラ][メイン+サブ]
解像度	送信する映像の解像度を選択します。[1080P(1920×1080)][1536×1080] [720P][VGA] ※動作ストリーム[2nd]設定時、解像度は同じものしか設定できません。 1080P(1920×1080)/720P:720Pのみ、1536×1080/VGA:VGAのみ
録画コマ数	送信する映像の録画コマ数を選択します。[30コマ/秒][15コマ/秒][10コマ/秒] [5コマ/秒][1コマ/秒][2コマ/分][1コマ/分][12コマ/時][6コマ/時] ※動作ストリームや録画方法によって設定できる録画コマ数は異なります。
音声記録	音声も送信する場合に[ON]にします。[ON][OFF]

#### ③センサー感度設定 ★:初期値 表示名 説 明 ✓を入れると「急発進」「急ブレーキ」「急旋回」 に敏感設定の4 段階が追加され感度 設定が1~13段階に変化します。 √なし 3 5 9 2 4 6 8 敏感設定追加 (◇→敏感 鈍感⇒) Î 1 2 3 4 5 9 10 11 12 √あり 6 7 8 13 ※√なしの[1~9]と、√ありの[5~13]は同じ感度になります。 Gセンサ記録 [有効]にするとGセンサー記録を行います。[★有効][無効] 衝撃/急発進 各感度を設定します。 /急ブレーキ |衝撃[1~15(★5)]、急発進/急ブレーキ/急ハンドル[1~9(★5)] /急ハンドル ※敏感設定追加時、急発進/急ブレーキ[1~13(★9)] ジャイロセンサ [有効]にするとジャイロセンサー記録を行います。[★有効][無効] 記録 急旋回の感度を設定します。[1~9(★5)] 急旋回 ※敏感設定追加時、[1~13(★9)] 設置角度検出 センサユニットを初めて取り付けたときや、設置場所を変更した場合に✓を入れ を実行 行ってください。

#### ACC スイッチ設定

# 表示名 説明 ACCスイッチ記録 [有効]にするとACC ONをトリガとしてイベント記録を行います。[有効][★無効]

5 電圧監視設定<sup>\*1</sup>

★:初期値

表示名	説 明
電圧監視	[有効]にすると録画延長中に常時電源(+B)の電圧を監視します。[有効][★無効]
梌屮雪庄設宁	設定した電圧以下になると、電源を切ります。
快山电儿改足	[★11.6V][11.8V][12.0V][12.2V][23.6V][24.0V][24.2V]

※1:電源コード(黄)を常時電源(+B)に接続した場合に使用可能となります。

#### ⑥ 録画待機時間設定\*1

あらかじめ録画待機時間設定を行うことで電源ONからすぐに録画を開始することができます。



※待機中は消費電力が増加します。 あらかじめご了承ください。

★:初期値

① システム	★:初期値
表示名	説 明
音量	[ON]にするとイベント記録時に音が鳴ります。[OFF][★小][中][大]
SDカードID	SDカードIDを設定できます。SDカードIDと本機IDをログに書き込むことで SDカードと本機の管理に役立てることができます。 ※[□半角文字のみ]に√を入れると、入力は半角のみとなります。
録画延長時間*1	車両停止(ACC OFF)しても設定時間は電源を保持します。 [★なし][1分][3分][5分]
パスワード	設定を変更できないようにパスワードを設定できます。(1000 ~ 9999の4桁)
OSD表示	[ON] にするとスルー画に本体内蔵時間が表示されます。[★ON][OFF]
スルー画出力設定 <sup>※2</sup>	スルー画のカメラ/表示方法を選択します。 [★OFF][ON][ON(左右反転)][ON(上下反転)][ON(上下左右反転)] [★メインカメラ][サブカメラ]
使用機種	使用する機種を選択します。
ACC-OFF後送信 可能上限時間*1	未送信のデータがあった場合、車両停止(ACC OFF)後にデータ送信する時間を設定できます。 [送信なし][★時間指定(30分)][無制限] ※別売品の通信ユニット(OP-WLAN1/OP-WLAN2/OP-LTE1)が必要になります。 ※送信途中でも設定時間で電源OFFします。また、未送信データの送信完了後は設定時間に 関わらず電源OFFします。⑤録画待機時間設定が有効な時間の場合は、電源OFF せず録画 待機中になります。
日時設定	✓を入れると、日付や時刻を設定できます。 ※本機が電源ONするとSDカードから読み込み、日時を修正します。現在時刻ではなく、次に本体を電源ONする日付や時刻を想定して設定してください。また、時刻がずれる場合がありますので定期的に行ってください。 ※別売品の防水GPSユニット(OP-GPS1)を取り付けた場合、GPSで取得した日時情報で自動補正されます。
※1:電源コード(黄)	を常時電源 (+B) に接続した場合に使用可能となります。

※2:スルー画出力は[NTSC]または[HDMI]どちらか一方しか表示できません。両方接続した場合は、 [HDMI]が優先されます。

・HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

**Yupiteru** 

★:初期値

#### ⑧ SDカードフォーマット

ー度SDカード内のデータをすべて消去し、必要なデータを書き戻します。工場出荷時の状態に 戻す場合にフォーマットを行ってください。また、本機では断片化が起きない独自のファイル システムを採用しており、定期的なフォーマットは不要です。

\*\*パソコンによる SDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォー マットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。

※必ず SDHC 規格または SDXC 規格に対応したカードリーダーやカードスロットをご使用ください。それぞれの規格に対応 していない場合、SD カードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

SDガードフォーマット ×	・クイックフォーマット
ドライブ D:	録画データを消去する簡易的なフォーマットのため短時間で終了します。
<ul> <li>クイックフォーマット</li> <li></li></ul>	・ <b>完全フォーマット</b> SDカード内のチェックを行いながらフォーマットするため時間がかかります。
■ 記録設定データを維持 使用機種 : FDR-820 m2 SDカードの設定 : FDR-820 m2	<ul> <li>・記録設定データを維持</li> <li>✓を入れると、SDカードの初期化を行っても、記録設定データを保持します。</li> </ul>
スタート キャンセル	✓を外すと工場出荷時の内容に戻り、記録設定データは削除されます。

#### ⑨ 録画データ削除

録画データの削除、または記録設定データを初期化します。

録画データ削除		×
☞ 録画データ □ 記録設定デ	削除 一夕初期化	
ок	キャンセ	L I

 ・録画データ削除 録画データを削除します。

・記録設定データ初期化

記録設定データを初期化します。

※録画データの削除と記録設定データ初期化を同時に行う場合は、 両方にくを入れてください。

## ⑩ バックアップ

SDカードに記録されているデータをパソコンなどにバックアップします。



① 初期設定に戻す 記録設定データを初期化します。

定

設

## SDカードフォーマット

#### SDカードエラーが表示された場合は、<u>クイックフォーマット</u>してください。 クイックフォーマットを行ってもSDカードエラー等が改善されない場合は、 <u>完全フォーマット</u>してください。

※パソコンによるSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合が あります。フォーマットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。

※必ずSDHC規格またはSDXC規格に対応したカードリーダーやカードスロットをご使用ください。それ ぞれの規格に対応していない場合、SDカードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできな いことがあります。

## 1.カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードを接続する





## 2. デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする



## 3.[ツール]⇒[機種選択]⇒[FDR]⇒[FDR-820 m2]をクリックする

🖉 PC Browser						
ファイル(E) 表示(V) 再生(P)	ツール(T) インフォメーション(	D	<b>G</b> 2	2	<u>í</u>	ı OL
	機種選択(M)	>	BU(D)	>		
	速度表示選択(V)	>	SN(S)	>		
	地図表示選択(G)	>	FDR(F)	>	FDR-800(1	1)
	記録設定(D)		FA(A)	>	FDR-810(2	2)
	SDガードフォーマット(S)		BDR(B)	>	FDR-820(3	3)
	30/3 1 2/1 (3)		Q(Q)	>	FDR-900(4	1)
	動画変換(T)		S(C)	>	FDR-820 r	n2(5)

## 4.[ツール]⇒[SDカードフォーマット]をクリックする



## 5.[DRIVEREC1]を選択し、[OK] をクリックする



※記録設定画面からもフォーマットは 行えます。( ← P.8)

## 6.[クイックフォーマット]または[完全フォーマット]を選択する



## 7.[記録設定データを維持]を確認し、[スタート]をクリックする



- ※1:フォーマット途中でキャンセルした場合、フォーマットが中断されます。フォーマットを中断すると、 再度使用するには完全フォーマットを行う必要があります。(キャンセルせず、フォーマット途中で SDカードを抜いたときも同様となります)
- ※2:SDカードが破損している場合、フォーマット中に表示が進まなくなることがあります。その場合は、 キャンセルしてフォーマットを中断してください。上記以外のフォーマット途中でキャンセルする と、SDカードが破損する場合がありますのでご注意ください。

3

 $\mathbf{Y}$ 

 $\mathbf{r}$ 

## バックアップ

SDカード内の映像をパソコンなどにバックアップできます。

※バックアップしても記録した映像は削除されません。映像を削除するときは、録画データ削除を行って ください。

## 1.データ名の一覧より、保存したい録画データ名に√を入れ、[読み込み]を クリックする

※データ名一覧の表示方法は ● P.4を参照ください。

## 2. 🔟 (バックアップ)をクリックする

※メニューバーの[ツール]⇒[バックアップ]でも同じ画面表示になります。 ※記録設定画面の[バックアップ]でも同じ画面表示になります。

## 3.保存する場所/バックアップ形式を指定し、[スタート]をクリックする



※[全てバックアップ]に√を入れるとSDカードに記録されているすべての映像がバックアップの対象 となります。

※PC Browser タイプで保存した場合、フォルダ内に[バックアップ年月日\_バックアップ時刻]のフォルダが作成され、その中に「データ年月日\_ データ時刻.bak」ファイルが作成されます。

## 4.[OK]をクリックして終了する

バックアップ	×
完了しました	
OK	

## 動画変換

記録されたデータをAVI形式の動画に変換して保存できます。

※動画を変換時、サブカメラが同時に記録されている場合、動画がメインカメラ、サブカメラで作成されます。

#### 1.データ名の一覧より、変換したい録画データ名に√を入れ、[読み込み]を クリックする

※データ名一覧の表示方法は ☞ P.4 を参照ください。

## 2. 🕄 (動画変換)をクリックする

※メニューバーの[ツール]⇒[動画変換]でも同じ画面表示になります。

3.保存する場所/ファイル名/録画コマ数/画像圧縮形式/字幕/変換区間を 指定し、[スタート]をクリックする



#### ・変換区間について

全て変換するの√を外すと変換区間を指定 できます。

#### ・字幕について

[日時設定]などに✓を入れると、選択した 情報を動画上に表示します。

※画像圧縮形式を[H.264] にした場合、字幕 は保存されません。

## 4.[OK]をクリックして終了する



操作方法

**Yupiteru** 

## 静止画変換

Yupiteru

操作方法

表示エリアに表示されている映像を JPEG 形式の静止画に変換して保存できます。

#### 1.データ名の一覧より、変換したい録画データ名に√を入れ、[読み込み]を クリックする

※データ名一覧の表示方法は ☞ P.4を参照ください。

#### 2. 🙆 (静止画変換)をクリックする

※メニューバーの[ツール]⇒[静止画変換]でも同じ画面表示になります。

#### 3.[表示中の静止画すべて]または[コマ数指定]を選択し、お好みの指定先 を選択して[スタート]をクリックする

C:¥Users¥	参照
○ 表示中の静止画すべて ○ コマ数指定(選択した静止画から)	
1 1 初間 30日マ/秒 💌	

表示中の静止画すべて
 1 画面表示で静止画変換を行った場合は1枚、16分割表示から静止画変換を行った場合は、表示されている16 画面の映像すべてを静止画に変換できます。

・コマ数指定(選択した静止画から) 表示エリアの映像から範囲指定した時 間分をコマ数指定した数で分割し、静 止画を作ることができます。

秒間:範囲指定された、表示エリアの映像の長さ(秒)を表示しています。
 コマ/秒:1秒間を何コマで分割するかを設定します。
 ※選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数が反映されます。
 ※静止画枚数は秒×コマ数になります。

## 4.[OK]をクリックする

## 静止画変換 × 完了しました 商業(.jpg)が完了します。 ○K

## 印刷

表示エリアに補油時されている映像を印刷します。

1.データ名の一覧より、印刷したい録画データ名に√を入れ、[読み込み]を クリックする

※データ名一覧の表示方法は ☞ P.4 を参照ください。

## 2. 🛆 (印刷)をクリックする

※メニューバーの[ファイル]⇒[印刷]でも同じ画面表示になります。

#### 3.[表示中の静止画すべて]または[コマ数指定]を選択し、[確認]を クリックする

	^
プルタ名	
Income PERF	
○ 表示中の静止画すべて	
○ コマ数指定(選択した静止画から)	
1 🚽 秒間 30コマ/秒 🔽	
確認 キャンセル	,

#### ・表示中の静止画すべて

表示エリアの映像を印刷します。16分 割で表示されているときは、表示され ている16枚の印刷を行います。

・コマ数指定(選択した静止画から) 表示エリアの映像から範囲指定した時 間分を、コマ数指定した数で分割して 印刷します。

秒間:範囲指定された、表示エリアの映像の長さ(秒)を表示しています。
□マ/秒:1秒間を何コマで分割するかを設定します。
※選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数が反映されます。
※印刷枚数は秒×コマ数になります。

## 4.印刷する



## ・印刷 ・印刷枚数を確認しま

印刷枚数を確認します。[OK]をクリック すると印刷を行います。

- ・**プリンタ設定** 印刷するプリンタを設定します。
- ・1コマ表示
- 1ページに1コマの画像を配置します。

#### ・4コマ表示

1ページに4コマの画像を配置します。

印刷完了後は[閉じる]をクリックしてください。 -13-

## ログデータを変換する

履歴記録のデータをKMLファイルに変換します。変換したKMLファイルを使って Google Earth Pro上で全走行ルートの表示ができます。また記録した録画ファイル を静止画に変換し、Google Earth Proの機能を使ってルート上に表示・保存できます。

- ※初期値では[---(OFF)]に設定されているため、履歴記録はしません。履歴記録を行う場合は、履歴記録 時間の設定を[---(OFF)]以外に変更してください。
- ※別売品の防水GPSユニット(OP-GPS1)が必要になります。また、接続しても使用環境によってはGPS が受信 (測位) できず、GPS 情報を記録できない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※あらかじめGoogle Earth ProのホームページよりGoogle Earth Proをダウンロードし、パソコンに インストールしておく必要があります。

※Google Earth Proのご使用方法等は、Google Earth Proのホームページをご確認ください。

## 1.[履歴記録]をクリックする

イベン	~言己翁	常時録画	履歴記録	
選択	No.	時刻	川別间	│機器Ⅱ

- 2.データ名の一覧より、変換したい履歴記録の録画データ名に、を入れ、 [読み込み]をクリックする 操作方法 3. 🛇 (ログデータ変換)をクリックする
  - 4.お好みファイル名や保存場所、ポイント、ルートの各項目を選択して [スタート]をクリックする

ログデータ変換	×
保存する場所	
C.¥Users¥	参照
ファイル名	
YP_20240514_144902	
■ ポイント(ログファイルデータの点による位置を表現します)	
変換するポイントの密度(1~30) 10	÷
▶ ルート(ログファイルデータの線分図形を表現します)	
幅(1~10) 5 3 透明度(0~255) 100	-
ė.	
☞ Google Earth Pro起動	
-+ 45	キャンセル

#### ポイント(ログファイルデータの点による位置を表現します)

GPS測位による1秒間隔の自車位置変化ポイントとしてGoogle Earth Proに表示させ、通過時刻や 進行方向を見ることができます。

・変換するポイントの密度(1~30)

Google Earth Proに表示させる自車位置の間隔を数秒(1~30)で設定します。数値を大きくすると間隔が粗く(広く)なります。数値を小さくすると自車位置の細かな変化を見ることができます。

#### ■ ルート(ログファイルデータの線分図形を表現します)

走行軌跡を線で表示します。

- ・幅(1~10)
- 走行軌跡表示の幅を設定します。
- ・透明度(0~255)

走行軌跡表示の透明度を設定します。[0]は完全な透明を意味し、数字が大きくなるほど線は濃くなっていきます。

・色

走行軌跡表示の色を設定します。

#### ■ Google Earth Pro 起動

ログファイル保存完了後、Google Earth Proを起動します。

## 5.[OK]をクリックする



変換が完了します。

※走行軌跡はGoogle Earth Pro上の道路や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがあ りますのでご了承ください。

## レポート表示

Yupiteru

操作方法

- レポートを作成/印刷することができます。
- ※一度に複数のレポートは表示できません。

■例:イベント記録のレポートを表示(印刷)する場合

1.[イベント記録]をクリックする

イベント記録	常時録画	履歴記録	
選択  No. 时	刻	トリガ	機器II

2.データ名の一覧より、レポートを表示したい録画データ名に√を入れ、 [読み込み]をクリックする

## 3. 🖾 (レポート表示)をクリックする

※メニューバーの[ツール]⇒[レポート表示]でも同じ画面表示になります。



No.	表示名	説 明
1	発生日時	イベント発生日時を表示します。
2	速度	平均速度と最高速度を表示します。
3	イベント種類	イベントの種類を表示します。
(4)	画像	録画データの開始/終了時、イベント発生時とその前後2秒の画像を表示します。
	印刷	印刷プレビューを表示します。
(F)	参照	CSV データの出力先を設定します。
0	CSV出力	CSV データを出力します。
	閉じる	レポート表示を閉じます。
6	速度グラフ	速度グラフを表示します。(縦軸は速度、横軸は時間を示します。)
$\overline{O}$	加速度グラフ	加速度グラフを表示します。(縦軸は加速度、横軸は時間を示します。)
(8)	地図	地図を表示します。

## 4.[印刷]をクリックする

印刷プレビューが表示されます。 印刷する場合はこの画面から行ってください。



印刷完了後は[閉じる]をクリックしてください。

・印刷 [OK]をクリックすると印刷を行います。

・プリンタ設定 印刷するプリンタを設定します。

## ・備考欄記入

備考欄に記入できます。

#### ・閉じる

印刷プレビューを閉じます。

## 録画データを削除

# 🖌 Yupıteru

#### SDカード内に記録されたデータを削除できます。

※いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、 データをパソコンなどの別の場所に保存してください。

#### 1.記録設定画面の[録画データ削除]をクリックする

スルー画像出力設 出力	OFF	• 6	りメインカメラ	C サブカメラ
使用機種 FDR-820 m2	- 機種3	変更を実行 S	Dカードの設定	FDR-820 m2
				,
SDカードフォーマッ	ト」【録画デー	-9削除	バックアップ	

※記録設定画面の表示方法は 🖝 P.8 を参照ください。

## 2.[録画データ削除]に√を入れ、[OK]をクリックする



## 3.[OK] をクリックする



削除が完了し、記録設定画面に戻ります。

## 1.SDカードの機種設定の確認

専用ソフトでSDカードの機種設定を確認することができます。SDカードの機種設定 と、使用するドライブレコーダーが異なると録画できない場合があります。 使用するドライブレコーダーを変更する場合は、必ずSDカードの機種設定を変更して ください。

## 1.最新の専用ソフトに更新する

下記のURLから最新のバージョンに更新してください。

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu\_drr.html

## 2.カードリーダーを接続しSDカードを接続する



※ご使用のSDカード容量に対応していないカードリーダーを使用した場合、SDカード内のデータが 破損することがあります。

## 3. デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする



## 4.メニューバーの[ツール]→[記録設定]を選択する



## 5.[DRIVEREC1]を選択し[OK]をクリックする



設定画面の「SDカードの設定」に設定している機種名が表示されます。

## 2.SDカードの機種設定の変更

例) FDR-820 で設定された SD カードを FDR-820 m2 に変更する

1.設定画面の[使用機種] ▼をクリックし、使用機種を選択する



## 2.[機種変更を実行]をクリックする

録画延長時間 OSD表示		(10 平角文子のみ) パスワード (1000~9999)	
- スルー画像出力設定 出力	OFF 👤	© メインカメラ	C サブカメラ
使用機種 FDR-820 m2	✓ 機種変更を実行	SDカードの設定 🏼	FDR-820
SDカードフォーマット	録画データ削除	バックアップ	

## 3.[SDカードへ保存]をクリックし、[はい]をクリックする



#### 使用機種が変更されます。

※「設定が変更されたためデータを削除します。バックアップしますか?」と案内を表示する場合があり ます。表示した場合は、SDカードをフォーマットし録画データが削除されます。必要に応じて録画 データをバックアップしてください。

操作方法

## こんなときは

## 電源が入らない

□ 電源ケーブルが外れていないか確認してください。

□ 本体のヒューズが切れていないか確認してください。

交換用ヒューズ (低背ヒューズ3A)

## 映像が記録できない

#### □ 専用SDカードが正しく挿入されていますか。

SDカードが正しく挿入されていない時などは正常に起動できません。 車両停止(ACC OFF)し電源ランプの消灯を確認してからSDカード を抜き取り、再度正しく挿入してください。( ← P.3)

切れている場合は、同じ容量の新しいヒューズと交換してください。



SDカード挿入口

□ 記録設定の上書きモードがOFFになっていませんか。 上書きモードがOFFの場合上書きができません。

SDカードを取り出し、専用ソフト上で設定を変更してください。(● P.8)

## 記録した映像が映らない

#### □ 専用ソフトがインストールされていますか。 下記 URLからインストールしてください。

(https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu\_drr.html)

#### 専用ソフトが起動できない/ 起動できるがSDカードファイルを 読み込めない

□ パソコンににDirectX9.0c以降のバージョンがインストールされていますか。 DirectX9.0c以降のバージョンがインストールされていないと起動できない場合があります。 DirectX9.0c以降のバージョンをインストールするかアップデートしてください。

## □ 専用ソフトを管理者として実行していますか。

管理者として実行してください。( 🖝 P.2)

## 本機から「SDカードを認識することができません」とアナウンスされる

#### □ 専用SDカードが正しく挿入されていますか。

SDカードが正しく挿入されていない時などは正常に起動できません。 車両停止(ACC OFF)し電源ランプの消灯を確認してからSDカードを 抜き取り、再度正しく挿入してください。( ← P.3)



SDカード挿入口

## 本機から「SDカードエラーです」とアナウンスされる

#### □ SDカードのプロテクトスイッチがON(書き込み禁止)になっていませんか。

車両停止(ACC OFF)し電源ランプの消灯を確認してからSDカードを抜き取り、プロテクトスイッチをOFFにして、再度正しく挿入してください。

プロテクトスイッチ

#### □ 本機専用以外のSDカードが挿入されていませんか。 別売品の専用SDカードを挿入してください。

## 本機から「ピーーーー」または「ブブブ」と警告音が鳴る

#### □ センサユニットが本体に正しく接続されていますか。

センサユニットが正しく接続されていないときなどは正常に起動できません。 車両停止(ACC OFF)し、センサユニットのコネクターを本体のセンサユニットに正しく接続してください。

※ 専用ソフトの設定が「Gセンサ記録: [無効]、ジャイロセンサ記録: [無効]」になって いる場合、センサユニットが接続されていなくても警告音は鳴りません。



## □ カメラ 1、またはカメラ2にカメラが正しく接続されていますか。 (2カメラ併用時)

どちらかのカメラが正しく接続されていないときなどは正常に起動できません。車両停止(ACC OFF)し、カメラを正しく接続してください。

※ 専用ソフトの設定が「サブカメラ: [無効]」になっている場合、カメラ2にカメラが接続されていなくても警告 音は鳴りません。



## 専用SDカードに録画データが保存されていない

□ 録画データのバックアップ等を行い、専用ソフトでSDカードをフォーマットしてく ださい。

#### □ SDカードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。

別売品の専用SDカード以外は使用しないでください。製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文 ください。

## 録画データの日付や時刻がずれる

□ 専用ソフト上で「日付設定」を行ってください。( ● P.8)

ы

七

J

К К 専用ソフトを起動すると「このSDカードの記録データを読み込む ことができません。実行ユーザーの権限などを確認してください。 (3.5)」と表示される

□ 専用ソフトを管理者として実行していますか。 管理者として実行してください。( ● P.2)

#### 専用ソフトでSDカードを読み込むと「挿入したSDカードは使用 機種が設定されていません。」と表示される

#### □ 下記の手順に沿って使用機種を設定してください。



## 専用ソフトでSDカードを読み込むと「有効なSDカードではありません」と表示される

□ 専用ソフトで完全フォーマットを行ってください。( ☞ P.11)

#### 専用ソフトを起動すると「ディスプレイ設定(DPI)を確認してください」 と表示される

- ●Windows7/8/10の場合
- □ ご使用のパソコンのディスプレイ設定を開いて、項目のサイズが「100%」になってい るか確認してください。
- □ ショートカットの「プロパティ」⇒「互換性」⇒「設定」から「高DPI設定は画面スケーリングを無効にする」に✓を入れ起動してください。

●Windows10の場合

□ ショートカットの「プロパティ」⇒「互換性」⇒「設定」を開き、「高いDPIスケールの動作を上書きします。拡大縮小の実行元」と表示されている場合は、✓を入れ起動してください。

#### イベント記録がうまく働かない

□ 加速や減速、路面の凸凹などに反応しすぎる場合は、専用ソフトで衝撃感度を鈍感側に 設定してください。

感度を敏感側に設定した場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。

#### □ 「設置角度検出」を行ってください。 センサスニットを知めて取り付けて時や

センサユニットを初めて取り付けて時や設置場所を変更した場合は、設置角度検出を実行してく ださい。

## 1.ランプの表示について

# Yupiteru

## 本体上部のランプの点灯で本機の状態がわかります。



#### ■ メインユニット録画ランプについて

状態	タイプ	通常/駐車	上書き	点灯パターン
	尚時録画市	诏尚中	なし	
独而市	吊时跡回中	进币时	あり	
<b>歐</b> 四中	イベント		なし	
	記録中	六世	あり	
停止中		共通		消灯

#### ■ メインユニット電源ランプについて

状態	ネットワーク*1	点灯パターン
	送信中	
電源(AAC)	非送信中(未接続/送信データ無し)	
ON	サーバーと接続できない	
	データ送信遅延	
	送信中	
電源(AAC)	非送信中(未接続/送信データ無し)	
OFF	サーバーと接続できない	
	データ送信遅延	

※1:別売品の通信ユニット(OP-WLAN1/OP-WLAN2/OP-LTE1)の接続が必要になります。

#### ■ メインユニットエラー時の点灯について

状態	タイプ	点灯パターン
<b>T</b> =	録画ランプ	
	電源ランプ	

#### ■ 通信ユニット(OP-LTE1)点灯について

状態	ランプ	点灯パターン
ユニット電源ON	電源ランプ	
ユニット電源OFF	電源ランプ	消灯
通信有効	通信ランプ	
通信無効/通信準備中	通信ランプ	消灯

## 2.警告音/アナウンスについて

#### 本体の動作状況を警報音/アナウンスでお知らせします。

ΤΕ	14 谷に		
坦日	17. 窓		
録画動作	イベント記録時	『ピー』	
	SDカード未挿入時	『SDカードが挿入されていません。SDカードを 確認してください』	
	SDカードフォーマットエラー時	『SDカードエラーです』	
エラー	SDエラー時		
	SDカード上限時(常時)	『常時録画の容量が不足しているため、録画を 開始できません』	
	SDカード上限時(イベント)	『イベント記録の容量が不足しているため、イベ ント記録ができません』	
	SDカード上限時(履歴)	「ピーピーピー」	
	カメラ無し(カメラ1)	『ピーーー-」	
	カメラ無し(カメラ2)		
	センサユニット未接続時	『ブブブ』	
	ヒーター部異常時	1	
システム	ファームフェア更新開始時	『ソフトウェアアップデートを開始します』	
	ファームフェア更新完了時	『ソフトウェアアップデートを終了しました』	

11 依				
外形寸法	$\frac{414(X1)}{2}$	154(幅)×26(高さ)×134(奥行)mm(矢起部际く)		
		35 (幅) × 10(高さ) × 26(奥行) MM (ケーノル部际く)		
		40(幅)×49(高さ)×35(奥行)mm(突起部际く)		
	OP-CM205WPH	40(幅)×49(高さ)×37(奥行)mm(突起部际く)		
	OP-CM365WP	4U(幅)×45(高さ)×33(奥仃)MM(災起部际く)		
	OP-CM208WP	54(幅)×33(自径)mm(突起部除く)		
	OP-CM209WPIR	55(幅)×33(直径)mm(突起部除く)		
	OP-GPS1	46(幅)×44(高さ)×12(奥行)mm(ケーブル部除く)		
	OP-WLAN1	110(幅)×50(高さ)×19(奥行)mm(ケーブル部除く)		
	OP-WLAN2	110(幅)×50(高さ)×19(奥行)mm(ケーブル部除く)		
	OP-LTE1	93(幅)×22(高さ)×61(奥行)mm(突起部除く)		
	OP-SW5	76(幅)×82(高さ)×76(奥行)mm(ケーブル部除く)		
	OP-CB010	束ね寸法:165mm		
	OP-CB011	束ね寸法:165mm		
	OP-CRU2WP	66(幅)×23(高さ)×32(奥行)mm(突起部除く)		
	本体(メインユニット)	約650g		
	センサユニット	約70g (接続ケーブル含む)		
	OP-CM364WPH	約138g (ブラケット含む)		
	OP-CM205WPH	約140g (ブラケット含む)		
	OP-CM365WP	約53g (ブラケット含む)		
	OP-CM208WP	約42g (ブラケット含む)		
	OP-CM209WPIR	約46g (ブラケット含む)		
本体重量	OP-GPS1	約92g (接続ケーブル含む)		
	OP-WLAN1	約169g (接続ケーブル含む)		
	OP-WLAN2	約192g (接続ケーブル含む)		
	OP-LTE1	約97g		
	OP-SW5	約237g (接続ケーブル含む)		
	OP-CB010	約243g		
	OP-CB011	約243g		
	OP-CRU2WP	約42g		
	OP-LTE1	Band1(2GHz), Band8(900MHz), Band18(800MHz),		
(同波致市)				
	記録保体	SDHCカード(8GB~32GB) / SDXCカード(64GB~128GB)		
	撮影素子 	200 万画素 カラー CMOS(STARVIS <sup>™</sup> 技術搭載 <sup>**2</sup> )		
最大記録画角 <sup>※3</sup>	OP-CM364WPH /OP-CM365WP	水平360°×垂直210°		
	OP-CM205WPH /OP-CM209WPIR	対角151°(水平124°、垂直64°)		
	OP-CM208WP	対角161°(水平135°、垂直71°)		
記録解像度		最大200万画素		
		1080P(1920×1080)、1536×1080、		
		720P(1280 × 720)、VGA(640 × 480)		
GPS		オプション <sup>*4</sup>		
センサー		Gセンサー / ジャイロセンサー		

HDR	OP-CM361WP /OP-CM360WP /OP-CM205WPH /OP-CM208WP /OP-CM209WPIR	有		
	記録方式	常時録画 / イベント記録 (G センサー & ジャイロセンサー記録)*5		
	音声	ON / OFF可能		
フレームレート		30コマ/秒、15コマ/秒、10コマ/秒、5コマ/秒、1コマ/秒、 2コマ/分*6、1コマ/分*6、12コマ/時*6、6コマ/時*6		
映像	マアイル形式	独自フォーマット		
最低被写体 照度	OP-CM364WPH /OP-CM365WP /OP-CM205WPH /OP-CM208WP	0.5LUX (ルクス)		
	OP-CM209WPIR	OLUX(ルクス) ※赤外線照射時		
防	水・防塵設計	IP56準拠		
記録映像 再生方法		専用ブラウザソフト <sup>*7</sup>		
電源電圧		DC12V/24V		
ACC検出電圧		DC10V~80V		
兴弗雷士	1カメラ使用時	7W		
<b>消貨電刀</b>	2カメラ使用時	9W (※最大12W)		
動作温度範囲		- 25°C ~ +60°C		
動作湿度範囲		30%~80% RH(結露なきこと)		
製品保証期間		1年(消耗品は除く)		

※1:各通信事業者および使用状況により、	使用する周波数は異なります。	詳しくは通信事業者へご確認	忍
ください。			

- ※2:STARVIS(スタービス)は、監視カメラ用途CMOSイメージセンサ向けに開発された、高感度・ 高画質を実現するソニーグループ株式会社の裏面照射型画素技術です。
- ※3:解像度により記録される視野角が変化します。広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。
- ※4: 別売品の防水 GPS ユニット (**OP-GPS1**) 接続で GPS 機能を追加できます。
- ※5:別売品のワンタッチSWユニット(OP-SW5)接続でワンタッチ記録の機能を追加できます。

※6:メインカメラの録画コマ数を[2コマ/分]、[1コマ/分]、[12コマ/時]、[6コマ/時]にした場合、 イベント記録コマ数は[1コマ/秒]になります。

※7: Microsoft Windows10または11に対応。

・本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。 ・STARVISは、ソニーグループ株式会社の商標です。

・Google、Googleマップ、Google Earthは、Google LLC の商標です。

・「Windows®」、「Microsoft®Windows®」は、Microsoft Corporationの、商標または登録商標です。

- ・「SDHC™」、「SDXC™」は、SD Card Associationの商標または登録商標です。
- ・HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国にお ける HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- ・その他の各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、 ®マークは明記していません。

本製品で使用しているオープンソースソフトウェアに関する情報は以下のURLよりご参照 いただけます。(https://www.yupiteru.co.jp/download/linux\_source.html) Yupiteru

#### ■記録時間(SDカード[8GB]、録画方法[常時録画]の場合)

	1080P(1920×1080)	$1536 \times 1080$	720P	VGA
30コマ/秒	約120分	約160分	約220分	約380分
15コマ/秒	約240分	約320分	約440分	約760分
10コマ/秒	約360分	約480分	約640分	約1,140分
5コマ/秒	約720分	約960分	約1,280分	約2,300分
1コマ/秒	約1,800分	約2,400分	約3,200分	約5,800分
2コマ/分	約900時間	約1,200時間	約1,600時間	約2,900時間
1コマ/分	約1,800時間	約2,400時間	約3,200時間	約5,800時間
12コマ/時	約9,000時間	約12,000時間	約16,000時間	約29,000時間
6コマ/時	約18,000時間	約24,000時間	約32,000時間	約58,000時間

#### ■ イベント記録件数(SDカード[8GB]、録画方法[イベント記録]、30コマ/秒の場合)

	1080P(1920×1080)	$1536 \times 1080$	720P	VGA
前後の合計20秒	360件	480件	640件	1,200件
前後の合計30秒	240件	320件	420件	800件
前後の合計40秒	180件	240件	320件	600件
前後の合計50秒	150件	200件	270件	500件
前後の合計60秒	120件	160件	220件	400件

※[常時+イベント]はおおよそですが、SDカード容量を常時70%、イベント30%で使用します。[常時 録画]や[イベント記録]の場合は、選択した録画方法でSDカード容量を100%使用します。

※16GBの場合は8GBの2倍、32GBの場合は8GBの4倍、64GBの場合は8GBの8倍、128GBの場合 は8GBの16倍の記録時間・イベント記録件数になります。また、15コマ/秒の場合、イベント記録件 数は2倍となりそれ以降は比例して増加します。

※サブカメラ使用時は、表の記載時間/件数の半分の時間になります。

※通信ユニット使用時は、表の記載時間/件数の14%低下します。